

～立秋・・・秋の気配はどこにある？～



マルバハギ



ススキ

秋立つ日詠める

秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる

藤原敏行（古今和歌集 卷四 秋歌上 169番）

山上臣憶良 秋の野の花を読める歌二首（万葉集 第8巻1537,1538）

秋の野に 咲きたる花を 指(および)折り かき数ふれば 七種の花
萩の花 尾花葛花 なでしこの花 をみなへし また藤袴 朝顔の花

8月の花 クサギ(臭木) シソ科 クサギ属

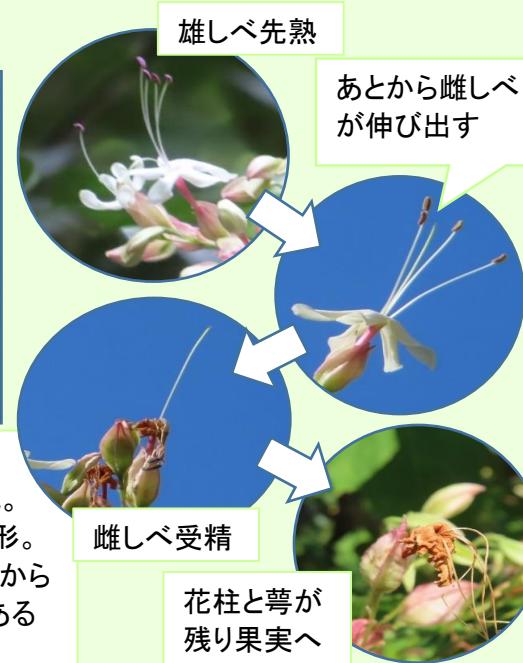


分布：北海道～沖縄、朝鮮半島、中国。

生育地：日当たりの良い山野の林縁、沿岸地。

落葉小高木、対生、全縁、裸芽、葉痕：馬蹄形。

花：集散花序、芳香、雄しべ・雌しべとも花冠から突き出す。萼は紅紫色、星形に開き光沢のある藍色果実を乗せる。草木染=青。若葉食用。



相生山の四季を歩く会 #180

2024.8.11

今年も半分以上が過ぎました。
冬芽観察、葉っぱクイズ、樹の
花盛り、夏のキノコ狩り。。覚え
たこと、忘れたこと、のんびり
自主トレ夏休み、収穫の秋へ。

3種の花を探した ヒサカキ(姫櫻)



雌花 2.22



両性花 3.10



8.6

冬芽～花 人気のウスノキ(臼の木)



3.1

ツツジ科
スノキ属



8.10

2面へ続く

次回 第2日曜は 9月8日
～ベニ・シロオニ・ハナオチバ・
コンイロイッポン・オリーブサカズキ
・・・秋は草の季節です～

夏と顔ぶれ変わるかな?
小グループに分かれて
キノコさがしを楽しもう

連絡先（古川）

tell/fax : 052-821-6463

ケイタイ : 080-5124-6463

e-mail : viva_forest@yahoo.co.jp

<https://lovelyearth.info/>

検索: 相生山の四季を歩く会

ブログ: 相生山からのメッセージ

今なら分かりやすい ヤマハゼ(山櫨)



冬芽は毛深い
果皮は無毛



コバノガマズミ(小葉の莢蒾) 猛暑に輝く

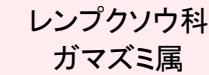


3.1



今年の実りは
どうなるだろう？

4.11



8.1

植生遷移の模式図（モデルは瀬戸市/海上の森）

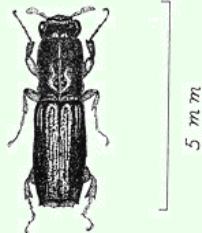
裸地からシイ林まで…200～300年くらいかかる



「ナラ枯れ病」はカシノナガキクイムシという体長わずか数mmの日本古来からいる昆虫と、これまた日本中どこにでもいるナラタケ菌の共生によって発生するという、古くから見られる樹病です。

近年、いろいろな樹病が目立っています。いずれも、老木や成木に被害が集中し、幼木はほとんど感染しません。

ナラ枯れも、森の世代交替の一環ではないかと思われます。この地域で集中的に枯れているモンゴリナラとコナラは、ともに自然界での寿命は100年程度で、森林の植生遷移の中では、マツ林の次に成立するやや先駆植生的な面を持った樹木たちです。



カシノナガキクイムシ♀

里山の経済的利用が終り、コナラやモンゴリナラが樹齢80年近くになったとたん、ナラ枯れが始まりました。病死も自然死のひとつです。

公園や人家横にある枯死木は、安全上、伐採処理する必要がありますし、場合によっては予防措置をとる必要のある樹林もあると思われますが、自然林の中では、森の動きにまかせておくのが、最善の措置でしょう。

ラブリーアース ホームページ 北岡明彦「森のひとり言」

その五：ナラ枯れ病について想う（2009.07）より引用